

第1回美浜区地域福祉計画策定委員会

日 時 平成16年7月17日(土)

14:00~16:00

場 所 美浜区役所 4階講堂

次 第

1 開会

2 区長挨拶

3 委員自己紹介

4 議題

(1) 会議の公開について

(2) 各地区フォーラムの取組状況について

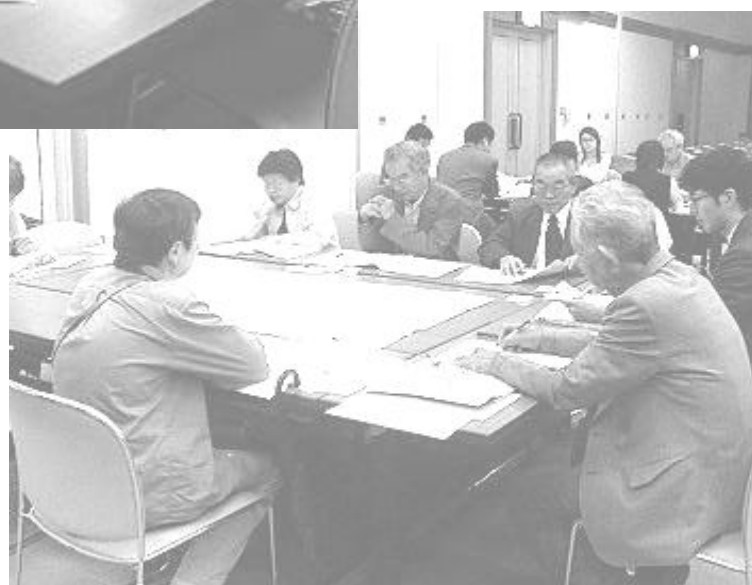
(3) 委員長、副委員長の選任について

(4) その他

5 閉会

美浜区地域福祉計画

各地区フォーラムの取組状況



平成16年7月17日

キーワード一覧表

フォーラム	グループ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
幸町地区	A	閉じこもり	交流の場	ボランティア活動	移動の保証	バリアフリー	身近な支援	防災	安全	福祉制度利用	生きがい作り	生活の質の向上	コレクティブハウス			
	B	居場所	交流	見守り	社会資源	情報	自立支援	地域生活支援	公共施設の開放・充実	人とのかわり方	孤独	情報バリアフリー				
稲毛海岸・高洲・高浜地区	A	生活支援	社会参加	健全育成	防災	地域特性・地域住民としての意識が乏しい	情報・防犯・相談	サービスのネットワーク化								
	B	交流	居場所	安否確認	とじこもり	就労	心のバリアフリー	サービスの質の向上	情報・サービスのネットワーク化	安全・見守り	声なき要支援者の発見	ボランティア・NPO活動				
真砂・磯辺地区	A	交通	虐待	バリアフリー	こころのバリアフリー	身近な生活支援	居場所	安全	相談	情報	活動拠点	高齢者施設	人材の活用	福祉教育		
	B	隣近所の助け合い	タクシイ等	交流	相談解決(情報提供)	ボランティア活動	見守り	ボランティアへの支援	在宅ケア	自立支援	介護者のサポート	公共施設	ケアマネジメント	サービス	施設	葬祭場
幕張西地区	A	身近な生活支援	安全	居場所	交通	教育施設	情報	交流	活動拠点	バリアフリー	自立支援	福祉教育	資金	社会参加	要支援者の発見	

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
幸町地区	閉じこもり	高齢者	元気な老人には機会が多いがそうでない人への呼びかけが不足している	元気な老人には老人センター等時間を過ごす場が多いが、障害を持つ老人、足腰の弱い老人にはひきこもりが目立つ。この人達を出歩かせることが必要と考えます。	1
			団地の共同住宅に住む独居老人の突然の「孤独死」が多発している	私達が住む団地で独居老人の「孤独死」があり、一週間誰にも気づかれず発見されませんでした。団地の共同住宅は密室性が強く、連絡が閉ざされ、発見が遅れる場合が多く見られる。	2
			地域からの孤立	孤独感や不安感が強くなる。緊急事態に援助が受けられない可能性がある。	3
		障害者	閉じこもりの障害者に社会参加を	家に閉じこもりの障害者に情報提供し、社会参加を促す方法は？（情報提供の場が少な	4
			閉じこもりの障害者に社会参加を	身体障害者が増加する中、身体障害者相談員をやっても地域の障害者名簿を閲覧できない。地域在住障害者の把握方法は？	5
	交流の場	児童	午後ともなると、かつて街のすみずみまで聞こえていた元気に遊びまわる子ども達の声が聞かれなくなった	少子化の問題だけでなく、子供の成長に必要な社会性が失われているのではないかと思います。地域の大人たちと共生できる子供達の成長を見守る環境を作りたい。	6
			母親の孤立	育児不安が深刻化し、子育てにとって望ましくない事態を引き起こす可能性がある。	7
			障害児が地域で障害の無い子と共に過ごす機会が少ない	共に遊び、学ぶ機会が少ないため、障害児は社会性を身につける機会を、障害のない子は多様な人を受け入れる機会をうしなってい	8
		その他	近所（集合住宅）同士のコミュニケーションの不足	隣の人が誰だかも分からない住民が集合住宅では多い。プライバシー立入の原則に誤った理解があるようだ。	9
	ボランティア活動	高齢者	エレベーターのないマンションなどで暮らしている方はなかなか外出することが難しい	バリアフリーでないマンションを所有している方々も高齢で年金などで暮らすので、買い替えも難しく、市営住宅も遠く離れた所にしかないのが現状で、今までの友人達と離れなければならず、知らない人ばかりの中で生きるはめになる。特に痴呆のある方には病気の	10
		その他	ボランティア活動を活発化する必要がある	元気で時間のある高齢者の方達や子供、学生などお互いに知恵や労働力を出し合って、より生きがいを感じたり、助け合えることもあるのではないのでしょうか。	11
	移動の保証	障害者	信号、エレベーター等に盲人に音の無いのが不足している	全盲の人が点字があっても降りる階が判明せず、階段で声をかける人を待っている。	12
			駅周辺の放置自転車（ミニバイク）等の処置	点字ブロックの上等に不法に置いてあり視覚障害者や車椅子利用者には大変危険である。	13
	バリアフリー	高齢者	団地住まいの高齢者は買い物、ゴミ出し等の日常生活のことで不便を感じている	団地五階に住んでいる高齢者には、階段の上り、下りに不便を感じている人がいる。エレベータはなし。	14
			マンション1階に住んでいる高齢者で車椅子生活のため日常生活に不便を感じている	高齢者で一人住まいであり、車椅子使用のため、一人での外出が出来ず、特に日常生活での不便（買い物等）を感じている人がいる。	15
		障害者	車椅子で歩きにくい	歩道と歩道とのバリアフリーが不十分で車椅子（押している時、自分で動かしている時）での歩行が困難である。（1.5cm以上の段差がある）	16
	防災	その他	調理できる施設がない	配食サービスの調理を東京ガスで行っているが、有料なのでこれから先も続けていくことを考えると負担にもなり不安です。	17
	安全	児童	児童又は弱者が身の危険を感じた時、安心して行く場所がない	マンションが多く不審者等で身の危険を感じても逃げるところ（寄せる所）がない	18

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
幸町地区	福祉制度利用	高齢者	介護保険の適正使用がなされていないようです	老人集いの場所として病院、介護所に行く人がいるのではないかと。実際には介護が要らない人の集いの場所として病院・介護所が使用されていないかと。	19
	生きがい作り	高齢者	生きがい作り	生きがいを持てば、介護予防にも繋がる。	20
	生活の質の向上	高齢者	介護高齢者の生活の質の向上	介護を受けながらも余生を楽しめる生活が必要	21
	コレクティブハウス	高齢者	一人または二人だけの食事で、栄養バランスが悪かったり、寂しい食事をしていることが	食欲がないとか、うまく介護サービスを使えなかったり、きちんとした食事をとれないことが多い。異世代が助けあひながら暮らす必要がある。	22
	居場所	児童	雨の日にゆっくり遊べる場所が少ない	雨の日にお子さんをお預かりした時等、ゆっくり遊ばせる所がないので、時間が長くなると退屈しているようです。	23
			休日の児童のうけざらが不足している	土、日及び祝日、長期休暇に児童が安全に過ごせる場所が少なく、一人で家庭にこもっていたり、繁華街、ゲームセンター等に入り浸ったりすることが多い。	24
			共働き夫婦の子ども達の下校後の遊び場所がない	下校時、小学生児童が他所のマンションの玄関ロビーでたむろし、遅くまで騒いでいる。自宅に帰っても誰もいないし母親も安全だからと、その場所を指定しているようだ。中には仕事帰りにそこまで迎えに来ている母親も	25
		障害者	住み慣れた場所で一生を送りたいと願っています	障害者が住み慣れた地域で安心して生活をするためには、地域の方達に支えられなければなりません。今までは親たちの運動でいろいろトライしてきたが、この機会に一緒に考えていただけたらうれしいです。	26
			統合失調症（精神障害者）の人の安定的な行き場所がない	美浜地区には統合失調症の人の家以外での行き場所が無く遠くまで行くか家の中にいることが多くなっている	27
			障害者同士の交流場所がない	同一障害者の方との交流（作業所等）はあるが違う障害者間の交流場所がない	28
	その他	中学生、高校生の夜間の外出が目立つ	授業を終えた中高生が夕方から深夜にかけてファミリーレストランやゲームセンターなどに通っている。	29	
	交流	高齢者	独居高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が多くなり町が沈滞化してきたようだ	幸町も町ができてから30数年が経ち子供達は独立し、当時の入居者も高齢者となった。一部の高齢者は町の何らかの団体に属し活躍しているが、大部分の人は自宅にこもるか、いわゆるデパ地下で食品売り場などをウロウロして一日を過ごすという、典型的な濡れ落	30
		障害者	同じところに居住していてもお互いに連携がとれず孤立している	団地内で障害者委員会を立ち上げてもらっても、責任者もどこに障害を持っている方がいるかわからず（プライバシー重視のあまり）連絡を取れずにいる。	31
		その他	地域のネットワークが希薄である	団地やマンションに住む住民は、お互いに声を掛け合う機会も少なく、地域でのネットワークをつくることができないでいる。（特	32
	見守り	高齢者	一人暮らしの高齢者は孤立しがちである	高齢になるにつれ外へ出る機会、意欲が少なくなる。配偶者を亡くすなどして単身となった高齢者は一人で家に閉じこもってしまうなど孤立しやすい。	33
社会資源	児童	近所に小児科専門医がないのでいざという時に不安である	この地域には内科と併設の医院はあるが、小児科専門の医院がなく幼児を抱えた若い夫婦は夜間に子どもに発病されたらどうしようかと不安がっている。	34	
自立支援	児童	ファミリーサポートの認知度が低い	忙しいお父さん、お母さんの為に、依頼会員・提供会員との相互活動で成り立っていますが、まだまだ多くの方達には知られてい	35	

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
幸町地区		障害者	入所の施設が不足している	入所施設はどこも満床で入所待ちの状態です	36
	地域生活支援	障害者	重度障害者は地域で暮らすことが困難	介護力が無いため、本人が望まなくても施設に行かざるを得ない現状がある。	37
	公共施設の開放・充実	高齢者	独居高齢者のお弁当を安心して安全に作れる場所が欲しい	独居高齢者がますます多くなり一人でも多くの方にたべていただくには安心して作業の出来る場所。又みんなで楽しんで食べ交流の出来る場所。現在公民館で作業をしておりますがとても不安です。	38
		児童	下校時以降の遊び場が不足している	児童センター以外に子どもの集まる所が皆無。(外で遊ばない)	39
	情報バリアフリー	障害者	視覚、聴覚障害者は情報のバリアが多い	視覚障害者は文字が読めず、聴覚障害者は言葉が聞き取れないため、日常生活に支障が多	40
	人とのかわり方	児童	家庭にいたくない子ども		41

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No	
稲毛海岸・高洲・高浜地区	生活支援	高齢者	独居老人の孤独死が問題になっている	隣・近所の付き合いもなく、介護保険のサービスの利用方法も分からずに一人で暮らしている高齢者が増えている。	42	
			地域住民が高齢者に来ることは？	大きく社会変革がもたらされている中で、これからの市民社会は地方行政と地域住民の参画と行動による協働に委ねられる。「高齢者の生活の安心と幸せ」のためには、問題とすべき課題の発見と理解を深め、地域住民相互による支援活動をいかに構築・発展させるかに	43	
			ちょっとだけ手を借りたい時、誰に頼めばいいの？	向う三軒両隣のなおつきあい、声かけ合いがなく、電球を取り替えてほしい、ゴミだしをお願いしたい等少し手を貸して欲しい時に誰かに頼めると助かる。	44	
		障害者	障害者の働く場、活動の場が少ない。	養護学校の下校後、長期の休みの時や卒業後の進路が心配	45	
			病院での通訳保障	美浜区には、千葉市立海浜病院があり、夜間緊急診療のため、色々の区から聴覚障害者が来る。しかし、通訳者がいないので非常に不安だ。	46	
			子育て不安	美浜区内には、子育て中のろう夫婦が多い。子の成長につれ、学校でろうの両親を持つことを理由にいじめにあわないか不安を持っている。	47	
				働き盛りの聴覚者の中には、面接を希望しても聞こえないから危ないとの理由で面接さえ拒否される場合が多い。健聴者の理解があれば就労できるケースが多い。	48	
		社会参加	高齢者	独居老人で頭はしっかりしているが、体が思うように動かず行動を起こせずに家にいる方	現存するデイサービスでは、物足りずにいるけれども、話し相手、楽しめる場所は欲しいけれどもそういう施設（送迎あり）がない。	49
				物理的な不満の他に精神的不満を持つ高齢者が多く、ひきこもり、そして寝たきりや痴呆の一步となっているようなこともある。	人生経験が長く、多様な高齢者の欲するものは多様で、ひとくくりにシニアクラブなどで満足されない。高齢者の元気で豊かな生活の為の様々な企画・実行（知的な学習・適度なスポーツの集まり・敬老祝い品の選択（バス券・祝い金のほかにもあるのでは？））が必	50
	守りの老後から攻めの老後へ移行できる方策			自己中心的で保守的になり、老化現象による生活上の制限等生きがいの喪失になりがちになる老後。生きがいの再発見、何でもやろうというチャレンジ精神が保持できる機会（組織・場所）を作ることが必要	51	
	健全育成	児童	児童の安全で広い遊び場・球技場の不足及び高齢者を中心とした住民の緑豊かな空き地が身近で不足している	高層住宅が増加した結果、新住民も増え、又、日照・眺望等の環境が悪化し、子どもや大人が気軽に憩える場所やみどりが大幅に減少した。市は、法律上はOKでももっと厳しい環境基準をつくり、公の空き地を増やして欲	52	
			門限がないのか、遅い時間まで戸外にいる	コンビニ・スーパー等で、夜遅い時間に児童・生徒がのみでいる。	53	
				小中学生と高齢者とのコミュニケーション作り	少子家族での小中学生の成長期に、社会生活経験の豊かな高齢者とのコミュニケーションは、子どもの健全成長に必要。	54
			高齢者	独居高齢者の火の不始末	独居高齢者のやけど、ぼや騒ぎ	55

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
稲毛海岸・高洲・高浜地区	防災	障害者	災害時の通訳、情報保障	美浜区には、ろう者だけの家族、特に、高齢ろう者が多い。地震など災害が起きた時の避難方法や情報について不安だ。	56
			電光掲示板の増設	交通機関での表示板は増えているが、他の公的施設やデパート、銀行などの表示板が少ない。	57
		その他	独身者。単身赴任者、学生等ひとり暮らしの人は、戸締り、火の用心等安全管理体制があると安心だ。	出かけた後の火の用心、戸締り等留守管理が出来れば安心した町になる。特にひとり暮らしの人は、出先から連絡する人がいないので、非常に不安になる。	58
	地域特性・地域住民としての意識が乏しい	児童	少子化もあり、また地域の特性から子どもの姿が見えず、全ての面で不安	核家族、千葉都民（共働き家庭）が多いという土地柄で、隣近所との面識が薄く、自宅に子どもや高齢者がいなければ、なおさら、子どもや高齢者に関心が薄い。問題を提起してもほんの一部しか反応がなく、特に、防犯、教育上の不安が大きい。	59
		その他	定住性がなく難しい	転入・転出が煩雑にあり、地域コミュニティが形成しづらい	60
	情報・防犯・相談	高齢者	悪質な訪問販売対策が必要	浄水器の訪問販売に危うく押印することろであった。	61
			香港ドルの宝くじに惑わされて	香港ドルの宝くじの手紙が頻繁に届く。魅力的な内容（今回貴女様が当選するかも）。あたかも自分が当選したような錯覚を与え、一回/10,000円を送金させる手口。一度、市消費者センターで確認（法律違反と聞き）し、罰せられると本人に説明するも聞く耳持	62
		その他	啓蒙が必要、活動が分からない	社協の活動内容が、地域住民に浸透していないため、十分な活動効果が表れない	63
	サービスのネットワーク化	その他	社協や地域の中で横の連携が取れていない	社協・町内自治会・民生委員・地域住民の連携が図られていない	64

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No	
稲毛海岸・高洲・高浜地区	交流	児童	保育園と地域との交流	中学生、女性に保育園に来てもらい、特に0歳、1歳児の生活の様子を見て、体験してもらいたい。また、育児書と実際の子どもの成長は、違うことを知ってもらいたい	65	
			公園に広い所がないため子どもが自由に遊べない	公園などの広い所がなく、子供たちがボール投げ又は、走って遊ぶことができない	66	
		障害者	障害者(児)は常に健常者との交流を希望している。	空き教室を利用して学童及び地域の人との交流をしたいと願っている。	67	
			下校後、障害児の遊び場がない	家以外の遊び場、居場所がなく家にこもっていることがほとんど。(近所にいる仲間、地域の健常児と集いたい、地域の運動会などの地域行事へ参加したい)	68	
		居場所	高齢者	独居老人の社会参加をどうする？	引きこもりの独居老人がどのようにして社会参加ができるか。	69
			その他	稲毛海岸・高洲・高浜の特徴から広い庭のある家がない	児童・高齢者・障害者・休日のサラリーマンなど、年齢を超えた人々が一緒に遊べる場所がない。	70
		安否確認	高齢者	独居老人の社会参加をどうする？	引きこもりによる独居老人の孤独死をどのように防ぐか。	71
				ひとり暮らしの高齢者の安否確認が不十分	安否確認は、本来毎日しなければいけないもので、現在の福祉と制度の中ではそれを満たすものがなく、配食サービスや安心電話といった代用的なものしかない。	72
	その他		団地では、表札や集合ポストに名前がないのが多く、声かけがしにくい。	挨拶はできても、名前がないのでいつまでたっても同じレベルのコミュニケーションしかとれない。	73	
	とじこもり	高齢者	呼び寄せ老人の孤独	住環境、人環境が変化し、戸惑い、引きこもりがちである。	74	
			新築マンションなどの人間関係の希薄さ	介護保険や公的サービス以外の人間関係は希薄で、独居の方に声をかけたり、気にかけてりすることがほとんどない。孤独死も大きな課題である。以前からのつきあいのある地域では、自治会の顔見知りの方が定期的に声をかけたり、掃除当番を免除してくれたり、近隣の人が商売ものの残りのおかずを差し入れ	75	
			サービスを利用することについて抵抗感のある家族等への働きかけ	とじこもりがちな高齢者の場合や、サービス利用に抵抗感があり家族が抱え込んで負担が大きい場合、民生委員他の働きかけで在宅サービスに結びつくこともあり、そうした場合には心身の安定が図られるが、難しい地域	76	
			団地ではひとり暮らし老人のうつ病発生率が以上に高い	東北の団地で築25年以上たった所は、医師の調べによるとうつ状態にあると認められる老人が異常に多く問題だと言っていた。	77	

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
稲毛海岸・高洲・高浜地区	就労	障害者	福祉の職場で働きたい	知的障害者の方で高齢者のお世話をしたいという方もいるが、サポートして仕事をしてもらうのは現状では困難であり、ジレンマがある。	78
		その他	地域で働きたい、働けたら・・・	地域で働きたいが働き口がない	79
	心のバリアフリー	障害者	身障害等ハンディのある人が、手軽に直接利用できる代行サービスがない。	施設から地域へノーマライゼーションを実現するための準備が不足している。	80
	サービスの質の向上	高齢者	高齢者の階段の昇降困難	エレベーターのない団地やエレベーターの止まらない階に住む高齢者の外出、特に車椅子ごと2人がかりで運べない狭い階段もあり、困難。	81
			高齢者世帯の契約書作成や役所の書類のわずらわしさ	サービス利用にあたって、その都度契約するのは面倒で大変という声も多い。もっと簡単にサービスが受けられたり、内容を伝えられると高齢者は楽なのではないか。	82
			進み行く老いに対処できない高齢者シニア住宅のなやみ	終の住家に介護付、レストラン有りと公団を選んで5年目になるが、介護なしレストラン廃止（宅配）となったが、身体の不自由・痴呆の方も出てきた。その対処のなさに苦慮している。明日は我が身で、お知恵をいただき人生の最終便をもう少し明るさを求めたい。	83
			介護保険制度の基でひとり暮らしに対する配慮がない。	老人の支援度をきめるのに、ひとり暮らしに対する支援が足りない。	84
		障害者	買い物するのに従来の店(近所の店)がなくなり、大型店に行かなければならなくなった。買い物に時間がかかり疲れる。老人・障害者には不便だ。	店舗が大型化し、近隣商店がなくなり、近所で買い物できたものが、遠くまで行かなければならず、老人や障害者にとっては不便だ。	85
	情報・サービスのネットワーク化	高齢者	要支援者の情報不足	支援をしたいと思うが、誰がどういう状況であるか情報がない。例えば、独居の高齢者がどこにいるかといった情報は、民生委員がもっているがそれを活用することができない	86
		障害者	社会福祉協議会として、お手伝いをしようとしてもどこにどういう対象がいるのなかなか把握できない。	社会福祉協議会に対しては、対象者の名簿については、教えてもらえず、人づてに知るぐらいでなかなか活動の広がり（対象者の増）が難しい。	87
		その他	社会福祉協議会の会員募集の実績があがらない。	各戸訪問でできるところは良いが、それ以外は実績がなかなかあがらない。（高洲・高浜地区部会では、全自治会が協力しているという訳ではないが、自治会のウエイトが85%を	88
	安全・見守り	児童	幼稚園児から小学校低学年児が公園で安心して遊べない。団地の階段にも変な人が潜む。	変質者出没情報などにより、小さい子が近所で安心して遊べない状況がある。このままだと、子どもたちの育ちそびれが広がることを危惧している。	89
			小学生がいたずら電話（オレオレ詐欺的な電話）に引っかかる。	変な電話がかかったらこうするようにと、学校・家庭で指導されているのに、手口が巧妙で気の毒にと思わせるようにかけるので、高学年の良心的な子が引っかって、なかなか立ち直れなくなってしまう。	90

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
稲毛海岸地区・高洲・高浜	声なき要支援者の発見	その他	ホームレスに住所がなく、復帰環境が整っていない。	ホームレスに社会貢献するチャンスと環境整備を考える。	91
	ボランティア・NPO活動	高齢者	社会福祉協議会のメンバーとして高齢者の方のお役に立ちたいと思っても身分(資格)が中途半端なためうまくいかないケースが多い。	高齢者の方に対しては、社会福祉協議会でも民生委員が中心となって活動しているが、推進員も含め他のメンバーについては、高齢者も一線を置くケースが多く、また、民生委員の活動の範囲を超えるような内容(例えば、高階に居住の方の1階への移動等)については、民生委員より拒否されるケースが見られ	92

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No	
真砂・磯辺地区	交通	高齢者	高齢者が車道を歩き危険	交通事故での死者が減る中、65歳以上の高齢者の死亡事故の割合が増えているようであるが、場所によっては、高齢者がショッピング・カートを押しながら車道を歩いているのを見かけ、交通事故の原因になりそうで、危	93	
			墓参りなど出掛けたいが不便を感じている	NPO等のボランティア輸送が横浜市では行われていたが千葉市内にはそういうサービス	94	
			バスに乗って用を足したいが便が良くない	低床バスの本数が少ない。	95	
			通院するとき送迎に不便	高齢者が通院するとき、足腰の不自由な方の送迎に不便・不自由である（費用など）	96	
			低床バスの本数が少ない	低床バスの本数が少ない。	97	
		障害者	車椅子での通行が危険である	車椅子を使用している人の立場に立って歩道が設計されておらず、歩道と車道との段差、レンガづくりの歩道などにより、車椅子走行	98	
			車椅子での通行が危険である	駅前など人が集中するところに自転車などが放置しており、歩道が狭くなっている。	99	
			病院までバスで行くのが大変	バス停が病院の近くにない。例えばみはま病院。	100	
			外出が容易にできない	施設を利用している者が、公共交通機関を利用して気軽にでかけられる交通整備がされて	101	
			バス停が病院の近くにない	バス停が病院の近くにない。例えばみはま病院。	102	
			障害者割引がスムーズでない	モノレールの障害者・児割引があるが、子ども料金で最低料金の場合、自販機に半額チケットが無い。また、無人改札の場合は手続	103	
		その他	ボランティア輸送のサービスが千葉市にな	NPO等のボランティア輸送が横浜市では行われていたが千葉市内にはそういうサービス	104	
		虐待	児童	親による虐待に対する対策が不十分	国の宝としての大事な児童に対し、信じられないような親などによる虐待事件が、多く報道されるようになってきている。この種の事件も発生してからその対応策を検討するのは遅すぎ、1件たりとも発生させない事前の調査と対応策の検討が必要である。家庭内のプライバシーに関する問題でもあり、調査、検討も難しいと思うが、この点、果たして十	105
				身近に何でも相談できるセンターが無い	児童や高齢者の虐待が話題になっているが、家庭に踏み込むのは難しい。かといって放置するわけには行かないケースがある。気軽に相談できるところが無い。	106

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
真砂・磯辺地区	バリアフリー	高齢者	車椅子を使って会合を開く会場が磯辺に無い(少ない)	千葉市社会福祉協議会磯辺地区部会で、高齢者を対象に月1回のふれあいいいきサロンを磯辺地区で5か所開催しているが、車椅子を使える会場は、新設の磯辺自治会集会所のみで他の4か所は段差のある会場であり、車椅子の使用は制限せざるを得ない。高齢者にはトイレの使用も問題がある。和式トイレの場合、しゃがんで体を支えるのには無理。	107
		障害者	バリアフリー化 障害者の自由な社会参加	障害者の活動の場を広げ、自由な社会参加が可能となる社会にしていくために様々な政策手段の組み合わせが必要である。	108
			身体障害者にとってバリアフリーが不足している	特に、せつかく車道と歩道の両方が整っている道路でも、歩道の在り方が身体障害者の事を全く考慮していない場所があり、この結果歩道を利用する事ができず、車道を利用する為に危険である。歩道と車道の段差、あるいは住宅地において、車の車庫入れをし易くする為に、歩道を斜めに削ってある場所があり、車椅子での移動が困難であるばかりでなく、雨や雪の日などは健常者にとっても滑りやすく危険である。行政と住民の両方での配	109
			住居がバリアフリーになっていないため不自由を感じている	障害が生じた場合、2階以上の住民には、1階に移るなどの配慮がされているようだが、公営住宅の1階に住んでも段差・階段が必ずあり、外出が困難。	110
			住居がバリアフリーになっていないため不自由を感じている	民間住宅ではほとんどがバリアフリー設計になっていない。加齢とともに困っている方が多い。市の住宅改修費用では足りない。	111
			歩道等の段差に不自由	車道と歩道の段差勾配が“急”又は“段差”があり車椅子(電動を含む)での動きが不自由である。	112
			デザイン化された道路等、車イス走行が大変	車椅子を使用している人の立場に立って歩道が設計されておらず、歩道と車道との段差、レンガづくりの歩道などにより、車椅子走行	113
			デザイン化された道路等、車イス走行が大変	駅前など人が集中するところに自転車などが放置してあり、歩道が狭くなっている。	114
			住居がバリアフリーになっていない	障害が生じた場合、2階以上の住民には、1階に移るなどの配慮がされているようだが、公営住宅の1階に住んでも段差・階段が必ずあり、外出が困難。	115
			住居がバリアフリーになっていない	民間住宅ではほとんどがバリアフリー設計になっていない。加齢とともに困っている方が多い。市の住宅改修費用では足りない。	116
障害者のオムツ交換の場がない	外出した場合、全身性障害者の青年だが、オムツ交換が必要になった時、公共施設も含め、オムツ交換の場が無い。	117			

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
真砂・磯辺地区	こころのバリアフリー	障害者	肢体障害者 = 車イスという図式がある	肢体障害者 = 車イスという図式が一般的。	118
			オストメイト 外見上識別不可	外見上障害者と判別出来ない為、困ることがある。	119
			視覚障害者は全盲者で点字が読めると思われている	視覚障害者というと全て全盲者で白杖を使い、点字が読めると思われている。	120
			障害者・児に対する視線が気になる。	自閉症の子どもを持つお母さんが「子どもがバス中で騒いだりすると乗客の多くが振り返るので、その視線が辛い。そのため、後部座席でなく、前部席に座るようにしている。これはひとつの事例だが、もっと、障害に対する理解を深めて、心のバリアを無くして欲	121
			障害児に対するバスの運転手の理解不足がある	障害者施設があるコースの場合はそうでもないが、あまり障害者・児が利用しないコースの場合、運転手がつっけんどんな対応があ	123
			病気に対する偏見から差別がある	グループホーム・作業所等施設をつくるときに、迷惑施設として反対される。病気への無理解から怖い人と見られる。外見上障害が見られないため、家族は近所付き合いに	124
			生活保護を受給していない低所得者がいる	ご本人の生活保護制度利用に対する「偏見」があり、受給していない。老齢年金だけの生活のため、栄養失調になるのではと心配であ	125
	身近な生活支援	高齢者	日用品・日用食料品の店が住居地に無い	住宅開発当初は、住宅地の中にショッピングセンターがあって、日用品の買い物をしていたが、駅の開発と合わせて、ショッピングセンターが地域から姿を消し、駅前に集中してしまった。そのため、住宅地から遠くなり、日用品の買い物に高齢者は苦労している。	126
		障害者	タクシーのサービスが悪い	雨の日にタクシーを頼んだが、車椅子をトラックに入れる時は運転席にいたまま、雨に濡れて座席に座ると舌打ちされた。もっと、介護する人の立場に立って欲しい。	127
			福祉タクシーのチケットが少ない	透析を週三回受けているが、福祉タクシーチケットは200枚しか支給されない。	128
			福祉タクシーのチケットが少ない	船橋市では福祉タクシーチケットが介護度1から支給されるが、千葉市では介護度4からと聞いた。何故、このような格差があるの	129
		その他	隣近所の関係が希薄になっている	阪神大震災のことを考えると隣近所の「底力」が大切だと思うが、公団などでは転入が頻繁であるため、私の階でいうと知っている	130
			隣近所の関係が希薄になっている	ご近所のご主人なのか、不審者なのかわからなくなっている。最近、空き巣がふえたよう	131

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
真砂・磯辺地区	居場所	高齢者	高齢者の集まる場所がない	高齢者（特に独居者）が集まって雑談などをする集会所が少ない。	132
			高齢の男性が出やすい場づくり	結果的に引きこもりの的になっている。市からの案内やご近所の声かけなどが無ければ、体力を落としていくことになる。最近、強調されているパワーリハビリだが、その施設が近	133
			一人暮らしに不安を感じ、孤独死が心配	自宅に住みつづけたいが一人暮らしではもてあましていて、また、孤独死が心配。かといって、特養・施設には入れないし、入りた	134
			高齢者の集まる場所がない	給食サービスの献立会議、いきいきサロン等の準備打ち合わせの場所を真砂コミュニティセンターに依頼しているが利用者が多い。	135
		児童	子どもの遊び場が少ない（真砂4丁目） 児童用の図書が少ない	幼児・低学年児童の遊び場が少ない。児童用の図書館が少ない。	136
	安全	児童	児童を守るための外部侵入者からの対策が不十分	少子化の時代において、児童がますます国の宝的な存在になってきており、一方で小学校などに外部から異常者が侵入し、殺人、傷害などの大きな事件が発生している。現状では、その件数は少ないとも言えるが、この種の事件は起こってからでは遅く、念の為の事前の対応が必要である。この点、果たして十	137
			家庭内での不慮の事故が増えている	厚生労働省の人口動態統計では「不慮の事故」が1歳から19歳の死因のトップを占めており、同省の研究班は「子供の成長を脅かす大きなリスク」であると警告している。親の問題であると単に片付けるのではなく、家の外での事故も想定でき、また「一人親の家庭」のことも考え、地域の問題に発展させ、事故を未然に防ぐ対応策を検討すべきと考え	138
		その他	治安が悪い	安心して散歩などへ行けない。	139
			災害・不審者等ネットワークが不明確	災害・不審者等、ネットワークが明確でない。	140
	相談	障害者	相談員に任せられるようなシステムピアカウンセリング	障害者に対し民生委員ではカバー出来ないピアカウンセリングの部分を相談員に任せられるようなシステムをつくるべきである。	141
			福祉行政サービスが必要な人に伝わっていない	行政の相談窓口だが相談コーナーも無い、相談に対応する窓口の人の力量にも差がある。	142
		その他	福祉行政サービスが必要な人に伝わっていない	外国の方が増えている。中国残留孤児の方などに対する母国語による説明パンフが不十分	143
			身近に相談できるセンターがない	児童や高齢者の虐待が話題になっているが、家庭に踏み込むのは難しい。かといって放置するわけには行かないケースがある。気軽に相談できるところが無い。	144

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
真砂・磯辺地区	情報	高齢者	いきいきサロンなど情報伝達が不十分	要支援・介護度1の方の場合、デイサービスを利用しない方が多い。いきいきサロンだと出席されると思うが、情報提供が不十分。	145
			いきいきプラザの利用ができない	いきいきプラザの催しの申込をしたいが、介護予防事業には「介護保険で認定された方は駄目」と言われた。制度に関係なく利用できるようにしてはどうか。	146
		その他	情報・告知等の伝達手段の不足	今の広報手段では不十分です。	147
	活動拠点	その他	活動団体等の場所がない	備品や書類の保管場所、簡単な打ち合わせ場所がない。	148
			敬老会や講演会など多人数の集まる場所が不	コミュニティセンターホールを使用しているが収容力が不十分。	149
	高齢者施設	高齢者	介護保険施設が不足	美浜区には、要介護者用の介護保険施設が少なく、各施設での入所希望待機者が多い状態である。特に今後とも何らかの介護・支援を必要とする痴呆性高齢者が増えていくことが予想され、対策が必要であると感じる。また、このことが在宅での介護の限界から、高齢者に対する虐待に発展するリスクがあると	150
			(介護施設での)介護能力の向上が必要である	美浜区には、要介護者用の介護保険施設が少なく、各施設での入所希望待機者が多い状態である。特に今後とも何らかの介護・支援を必要とする痴呆性高齢者が増えていくことが予想され、対策が必要であると感じる。また、このことが在宅での介護の限界から、高齢者に対する虐待に発展するリスクがあると	151
	人材の活用	障害者	催し物があっても手話通訳がない	地域の公的な施設で催し物があっても手話通訳がない為、参加出来ない。	152
	福祉教育	障害者	ノーマライゼーション差別・いじめ・エチケット	地域社会における差別、いじめ等障害者に対する諸問題。障害者に対するエチケット。	153
	隣近所の助け合い	高齢者	独居高齢者が何処に住んでいるか住民が知らない	大災害時に、地域住民が孤立した独居高齢者を救済しようとした場合、該当者が何処に住んでいるか分からない。民生委員はつかんでいるが、地域に知らされているわけではないので、住民が把握できない。磯辺には、エレベーターの無い5階建て集合住宅が多いの	154
			隣近所の関係が非常に希薄になっている	子どもの声を聞く機会が少なくなった。子ども会の解散、地域での子どもの居場所が無いと思うが…。これでよいのか？	155
		障害者	隣近所の関係が非常に希薄になっている	障害をもった方が、早朝にゴミ出ししている。障害の姿を見られたくないという意識が働いている。	156
		その他	隣近所の関係が非常に希薄になっている	阪神大震災のことを考えると隣近所の「底力」が大切だと思うが、公団などでは転入が頻繁であるため、私の階でいうと知っている	157
			隣近所の関係が非常に希薄になっている	ご近所のご主人なのか、不審者なのかかわからなくなっている。最近、空き巣がふえたよう	158

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
真砂・磯辺地区	タクシー等	高齢者	ちょっと行きたいところがあるのに行けない	タクシーやバスを利用するほどではないが、ご近所の助け合いが希薄なので頼めない。	159
		障害者	タクシーのサービスが悪い	雨の日にタクシーを頼んだが、車椅子をトランクに入れる時は運転席にいたまま、雨に濡れて座席に座ると舌打ちされた。もっと、介護する人の立場に立って欲しい。	160
			福祉タクシーのチケットが足りない	透析を週三回受けているが、福祉タクシーチケットは200枚しか支給されない。	161
			福祉タクシーのチケットが足りない	船橋市では福祉タクシーチケットが介護度1から支給されるが、千葉市では介護度4からと聞いた。何故、このような格差があるの	162
			障害児に対するバスの運転者の理解不足がある	障害者施設があるコースの場合はそうでもないが、あまり障害者・児が利用しないコースの場合、運転手がつっけんどんな対応があ	163
	交流	高齢者	高齢の男性が出やすい場づくりが不足している	結果的に引きこもりのになっている。市からの案内やご近所の声かけなどが無ければ、体力を落としていくことになる。最近、強調されているパワーリハビリだが、その施設が近	164
			一人暮らしに不安を感じている。	自宅に住みつづけたいが一人暮らしではもてあましていて、また、孤独死が心配。かといって、特養・施設には入れないし、入りた	165
		障害者	施設ケアで障害者の生活が閉鎖されがち	障害者、障害者の家族で行動してしまい、他分野の人達との交流が日常的に少ない。	166
	相談解決(情報提供)	高齢者	いきいきサロンなどの情報が伝わらない	要支援・介護度1の方の場合、デイサービスを利用しない方が多い。いきいきサロンだと出席されると思うが、情報提供が不十分。	167
		その他	自宅介護か施設での介護かを選択するために必要な情報を落ち着くまでサポートしてくれる処がなく困っている	脳梗塞で入院治療後、介護をうけての生活になる。在宅か施設かを選択する場合に受けられる援助内容及び費用等の情報を下見の案内を含めて、落ち着くまでサポートしてくれる処がない。	168
	ボランティア活動	その他	ボランティア活動について	男性と若年層のボランティア活動参加が少ない。	169
			ボランティアの拠点が無い	千葉市社会福祉協議会磯辺地区部会では、今年の4月から真砂地区と分離し、よりきめの細かい地域福祉を実施しようとしています。役員は全員磯辺地区のボランティアです。磯辺地区で活動を展開しようとしても、事務所、事務書類を置く場所が無く、結局真砂コミュニティセンターの事務室会議室の一部を借りて書類置場をようやく確保している状態です。ボランティアの活動拠点(役員が集ま	170
	見守り	高齢者	生活保護を受給していない低所得者の方がいる	ご本人の生活保護制度利用に対する「偏見」があり、受給していない。老齢年金だけの生活のため、栄養失調になるのではと心配であ	171
	ボランティアへの支援	その他	親切の協力行為が不足の事故等で訴訟を起こされる事は親切心に二の足を起こさせている。	近所の子供達を遊びに連れて行き、子供の不注意(注意を守らない)で水難事故があると引率の管理責任を問われ親切がアダになる。病院に行く高齢者を親切心で車に同乗させたところ途中で交通事故を起こし高齢者に怪我をさせ責任を問われ親切がアダにな	172

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
真砂・磯辺地区	在宅ケア	障害者	緊急時の一時受け入れが地域で不可能	障害者の家族が急用や急病の時、一時的に預かってくれる施設がない。支援費制度を利用の一時預かりは3か月前の申し込みが現状。	173
	自立支援	障害者	親なきあとの心配	当事者が一人で安心して生活できる場所がない。24時間なんでも相談できる所がない。当事者の体力に応じた働く場所がない。医療費の負担の問題。	174
	介護者のサポート	障害者	疲れた家族がリフレッシュできないで悩んでいる	病気への偏見・差別があるため、家族が悩みを話したり、相談をする場がない。（家族への支援）	175
	公共施設	高齢者	高齢者昼食会の会場が磯辺に無い	千葉県社会福祉協議会磯辺地区部会で独居高齢者等を対象としたふれあい昼食会を磯辺で開催しようとして、磯辺公民館を使用しようとしたが出来なかった。公民館は社会教育の場として、飲食は禁止されており、福祉としてふれあい昼食会の会場には使えないことになっている。結局真砂コミュニティセンターを利用することになったが、磯辺からは他地	176
	ケアマネジメント	高齢者	介護予防生活支援事業が利用できない	いきいきプラザの催しの申込をしたいが、介護予防事業には「介護保険で認定された方は駄目」と言われた。制度に関係なく利用できるようにしてはどうか。	177
	サービス	障害者	障害をもつ子どもの交通割引がスムーズでない	モノレールの障害者・児割引があるが、子ども料金で最低料金の場合、自販機に半額チケットが無い。また、無人改札の場合は手続	178
	施設	障害者	全身性障害をもつ青年だが、オムツ交換の場が無い	外出した場合、全身性障害者の青年だが、オムツ交換が必要になった時、公共施設も含め、オムツ交換の場が無い。	179
	葬祭場	その他	葬祭場が美浜区に無い	高齢者が増加しているとともに、亡くなる方が増えているが、葬祭場がこの地区及び美浜区に無いため、稲毛区、花見川区、中央区の葬祭場を使う方が殆どで、遠くて不便だ。近隣の高齢者が参加しづらい。	180

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
幕張西地区	身近な生活支援	高齢者	健康診断のサービスが保健所で受けられない。	風邪の流行期に病院に行き、感染してしまうことを避けたり、検査のためだけに長時間待ったりしなくてもよいようにする。	181
			在宅介護施設が少ない。	デイサービスやショートステイ施設がなく不便を感じつつも遠方の施設を利用している人	182
			在宅介護施設が少ない。	訪問介護やケアマネの業者が近くになく（あっても多忙で断られる）、利用しにく	183
			グループホームを作れない。	土地所有と土地利用の制限から、グループホームを作ることができない。	184
			在宅介護施設が少ない。	入所施設がなく、うまく施設に入所しても遠方であり、面会に行くのも不便である。	185
			日常の買物をできる店が少ない。	近くに店舗が少なく、日常の買い物を遠方にするか、近くの高価な店で行っている。	186
			在宅介護が難しい。	最後まで自宅で暮らすため、自分らしく生きるためのバックアップ体制がない。（夜間に何かあったときのことも含めて）	187
			高齢者夫婦、独居のため、何かあったら困る。	買い物や食事などの家事援助、通院の送迎など気軽に頼めるしくみがないので、何かあったときに困る。	188
		身近に買物できるスーパーがなく、買物が不便。	スーパー西友の撤退により生鮮食料を求めるのに、徒歩で用が図れる所がなく、高齢者が大変不自由をしている。	189	
		障害者	家族の外出時等に預けるところがない。	障害者（及び介護の必要な老人）の家族の休養や外出、緊急の用事のために介護が出来なくなった時、預けられる施設が区内に不足し	190
			グループホームを作れない。	土地所有と土地利用の制限から、グループホームを作ることができない。	191
			身近に入所施設がない。	障害児・者は遠方の施設・学校と自宅の往復だけであり、地域のなかで自立した生活を送	192
			地域内にレスパイト施設がない。	家族支援の観点からも地域内にレスパイトの施設が欲しい。	193
		その他	・生活困窮者、親のない子、等への関わり方が難しい。 ・障害や生活困窮の状況が顕在しない。	・対象とするのはこの地域にかぎらない。 ・身体 精神 知的障害 子供 老人だけが対象でよいかどうか。 ・生活困窮者（ホームレス、無職者など）はどうなのか。	194

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
幕張西地区	安全	児童	公園の遊具が2～3才児に安全ではない。	公園の遊具は、見た目は楽しそうだが、幼稚園入園前の2～3歳児には特に危険なつくりになっている。	195
			子ども110番の家が少ない。	古い街区にはいくつかあるが、新しい街区にはないので何かの時には不安。	196
			時計のない公園が多く、子どもが帰るのが遅くなる。	公園に時計がないので、子ども達が時間の管理ができず、帰りが遅くなってしまう。	197
			公園の照明が暗く、不安。	公園の照明が暗く、特に冬場は子どもたちが帰るころ(5時ごろでも)暗くなり不安がある。	198
		その他	大きい交差点では青の時間が短く、渡りにくい。	ベビーカーを押していたり、小さい子どもをつれていたりすると、信号の時間が短くわたりきらないうちに赤になってしまう。高齢者にとっても危険。	199
			公園にゴミが散らばっている。	公園にタバコの吸殻やお弁当かす、ペットボトルなどが散らばっていて汚い。小さい子どもがタバコの吸殻を口に入れることもあるので困っている。	200
			車上あらし等が増え治安が悪くなった。警察の対応が遅い。	車上あらしや引ったくり、不審者・変質者が多くなってきているが、警察の対応が不十分(遅いなど)で安心できない。	201

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
幕張西地区	居場所	高齢者	気楽に集える場がない。	お茶のみ話や簡単なゲームなどができるいきいきプラザのような施設がない。	202
			日常的に集える場がない。	日常的に仲間で話をしたり飲食をしたり、気軽に集まり楽しむ場がなく、高齢者が家にこもりがちになる。	203
		児童	自然に触れられる公園が少ない。	人工の街で、自然（土、水、植物、虫など）に触れる機会が少ない。	204
			小学校高学年の子どもが放課後過ごす施設がない。	ルームを卒業した4年生以上の子どもが、放課後安心して過ごす場所がなく、親が留守の場合は特に不安がある。	205
			小学校のクラブ廃止で、スポーツや文化活動を行う場が不足している。	小学校のクラブ活動廃止により児童の放課後のスポーツや文化活動を行う場が無くなってしまった。（打瀬小学校）	206
			保育時間が限られているので、二重保育が生じている問題。	保育園の入園希望者が多いにもかかわらず、その数は不足している。（打瀬） 保育施設の保育時間が限られていて二重に預けなければならない場合が生じ、母子共に負担を感じている。	207
			畑や田んぼがなく、子供に農作物の成長を教えるきっかけがない。		208
			子供が遊べる施設がなく、公園の樹木に登って遊んでいる。	児童が関心を持てる施設等が不足しており、従って休日等には公園内の植木にのぼりロープを張ったり板きれを持込んだりして基地と称して遊んでいる。又これらの廃棄物等はそのままに放置したままである。	209
		障害者	障害者がストレス発散できる場所が少ない。	プール（無料）、図書館、美術館（無料）、大学、高校、料理教室、職業訓練、専門学校、通信教育、運動（散歩、バスケット、テニス、筋肉トレーニング）動物飼育、芸術活動、音楽活動など発散の方法は色々あるが、医者や精神保健福祉士が言っても、障害者は聞き流す。障害者自身が言う方が効果が	210
		その他	ボランティア等のサークル活動の拠点がない	ボランティアサークルを含め、活動拠点、物置がなく、不便である。	211
			何かの時に人々が集まる神社・仏閣がないのがさびしい。		212

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No	
幕張西地区	交通	高齢者	交通の便が悪く、行政手続きが難しい。	千葉方面、区役所等への便が悪い。高齢者が病院又は役所に出かける時に、交通の便がわるく1日がかかりである。	213	
			交通便が悪い。	稲毛海岸駅行きのバスがあったが、廃止されたので通院や買い物に不便。	214	
		その他	駅までの交通手段がなく、高齢者等には不便。	現在、ベイトウン循環バスは、循環していない所もある。又、1時間に2本位しか無い。海浜幕張駅までは、自家用車、自転車、徒歩、タクシーの方法があるが、自家用車は駐車場の問題があり、自転車は天候の悪い日や、これから高齢化していく人達にとっては危険も伴う。妊娠中の女性、病人、小さな子供連れの人にも、自転車が徒歩だけというのは不便すぎる。JR幕張駅までは現在はタクシー	215	
			駐車スペースが少ない。	路上駐車が多く、危険。また、駐車場から自宅までの距離が長く、不便である。	216	
			違法・路上駐車がが多い。	来訪者のための駐車場が少ないこともあり、路上駐車や違法駐車が多く交通事故もおきていて危険である。	217	
		教育施設	児童	児童数に見合った学校施設ではない。(足りない)	児童数増加見込みが甘く、学校施設、設備が追いついていない。	218
				子どもルームが不足	児童数増加見込みの甘さ、共働き家庭の多さから、需要においついておらず、地域内の緊急の課題である。	219
	保育園が少い。			一時保育をしたいが、空きが少なく預けたいときに預けられず困っている。また、将来仕事に復帰したいが、預かってもらえるか心配。	220	
	子どもルームが足りない。指導員の目がゆき届かない。			行政の読みが甘く、児童の増加に対して学童保育の設備が追いついていない。1校1ルームの対応ができていない上、大勢(90名以上)で過ごすため子どもたちにとって悪い環境状態になっている。	221	
	情報	児童	公園工事の事前連絡が行き届かないことがある。	事前の連絡がないことがあり、公園に行っても遊ばず遊ぶ場所をあちこち探して歩くことがある。	222	
			育児サークル等の情報がバラバラで伝わりに		223	
		障害者	支援費制度の使い方がわからない。	支援費が導入され、いろいろな可能性がひろがったようだが、実際具体的に使う時は、迷ってしまう事が多い。	224	
			その他	「情報ステーション」のようなところがない。	マンションの位置と名前、病院やいろいろな福祉情報など街についての情報が把握しにくく、生活に不便がある。	225
		市境のために近くの医療機関を利用できずに		医療機関がすぐ側にありながら、市の健康診断を遠方の市の病院までいかなければ受けら	226	

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No
幕張西地区	交流	高齢者	高齢者と子供が触れあえる場がない。	高齢者は立派な施設があっても遠くまで行けない。学校は近くて使いやすい。教室利用許可証があれば自由に学校に入って高齢者用に用意されたサークル、講演会など利用出来たらよいと思う。学校の中でも地域の人が入ってくることで、いじめがなくなるとおもう。「おじいちゃんおばあちゃんの相談室」というのを作ってもらって、児童の悩みを聞いてあがるのもいいと思う。	227
		障害者	障害児が健常児と触れ合う機会が少ない。	障害をもち、養護学校に通学している子供は、地域の子供達と遊んだり知りあったりする機会が少ない	228
	地域の中で他の障害者の人々と知り合う機会が少ない。		障害者といっても、いろいろな障害があり、又、いろいろな年令層の人々がいて、地域の中には、多くの人々がいるはずであるが、なかなか、外に見えてこないの、知りあい、お互い協力しあっていく事ができない。	229	
	活動拠点	高齢者	シニアクラブ等の活動拠点が無い。	シニアクラブ(老人会)は、協力者の好意で活動拠点があつたが、協力者の都合で使用不能となり、苦慮している。	230
	バリアフリー	高齢者	団地の上層階の高齢者の足腰が弱ってひきこもりがち。	足腰が弱り家の中にこもりがちになる人が多い。	231
			障害者用のエレベーターがない駅が多い。	使い易さ。総武線の新検見川駅は片方の階段しかエスカレーターがない。京葉線は下りエスカレーターがない。荷物が多い時は大変。電動車いすは使えない。1Fにエレベーターを作って自分で乗り降りしたい。(駅員に手助けして)	232
		障害者	バリアフリーではな 段差のため、車いすで外出できない。	車椅子が使いにくい。 歩道と車道のわずかな段差や、石畳のため車椅子を押すのが大変。この街で車椅子生活はできない。	233 234
	自立支援	障害者	障害児の養護学校卒業後の進路が不安。受け皿が少ない。	障害をもつ子供が養護学校を卒業したあとの、地域での受け皿がなく不安である。	235
			精神障害者用のジョブコーチがいない。	障害者の各々の個性が活かせるような場を、企業が積極的、優先的に作って提供して欲し	236

フォーラム	キーワード	区分	カード記載内容	問題要旨	No	
幕張西地区	福祉教育	児童	障害児が珍しく見られることが多い。	美浜区、特にベイタウン内の小学校や中学校の建物や設備の立派さに驚きましたが、子供達が障害者を見たり知ったりする機会があまり無いらしく、珍しそうにジロジロ見る目にも驚きました。子供達に自分より弱い者に対しての態度や、いたわりや優しさを教える。	237	
			学校への障害児の受入れが難しい。	・子供達に地域福祉への関心を深めてもらうため。 ・障害を持つ生徒が普通校に入学することが増加している傾向にあります。 ・障害を持つ親がPTA行事などで学校に行く場合もあります。又 いじめと障害とは、関係がある場合もあります。 ・以上の理由より学校関係の方々よりお願いいたします。	238	
			障害児と健常児がふれあう場がない。	住んでいる地域の子もたちと交流ができず、家の近所に友達ができない。	239	
		障害者	精神障害の認知度が低い。	海をみると心がなごみます 高齢者にとっても障害者にとっても心が開かれとじこもりが解消します 海浜公園や磯辺の浜など空いた空間に屋根のついた施設がほしい 子供の為にはしきつめじゅうたんでねころべて本が読める空間がほしい そこでお世話する人は高齢者と精神障害者にさせてほしい そうすると精神障害者が危険でない人だと分かりま	240	
		資金	高齢者	住民による高齢者向けサービスの資金がない。	食事サービスや子どもたちとの交流などを通して、住民同士のコミュニケーション(世代間交流も)を深めたいが、資金がなくなかなかできない。	241
			障害者	障害のため学業断念した人の学費の問題。		242
	社会参加	高齢者	高齢者が働く場所がない。	高齢者が知識や経験を活かして働く場がなく、生きがいを持ちにくい。	243	
		障害者	(精神)障害者の働く場所がない。	精神障害者の働く場所が少ない。もっと自立できる支援体制が必要だと思う。	244	
	虐待	児童	子どもの虐待が多い		245	